

2016年度 SGHフィールドスタディ 一覧

研究分野	フィールドスタディの名称	概要	主な取材対象者	取材地	実施時期	形態	事前学習
国際貢献 より平和な国際社会の建設	草の根アプローチ International Cooperation: Grassroots Approach	途上国の農業研修生との交流を通じて、途上国の現状を知り、国際協力の現場を取材する。それに関わるNGOの役割について理解を深める。	アジア学院農業研修生 アジア学院荒川校長、 同校職員 日本消費者連盟 田坂興亜氏 NPO法人GLMi	栃木県 東京都	7/14- 7/16	夏季休暇中2泊3日アジア学院(栃木県)に宿泊し関係者を取材・実習	春学期放課後(週1回)
	行政アプローチ International Cooperation: Public Administration Approach	南北問題を行政側からアプローチする実務者に、それぞれの立場から経験したこと、実際現場で直面する困難やそれをいかに乗り越えていくか等を取材し、課題と可能性を探る。	国連開発計画 アジア開発銀行 国際協力機構(JICA) GLM(開発コンサルタント) セーブザチルドレン	東京都	11/24- 11/26	秋季休暇中2泊3日東京都に宿泊し関係者を取材	秋学期放課後(週1回)
	ソーシャルビジネスアプローチ International Cooperation: Social Business Approach	南北問題や社会問題をビジネスの手法で解決するソーシャルビジネスや企業のCSR活動の実践者に取材を行い、問題に対する既存のアプローチを学び、ソーシャルビジネスの理解を深める。	三菱商事CSR担当者 株式会社Culmony 代表取締役 岩澤直美氏 株式会社フルッタフルッタ CEO長澤 誠氏	東京都 千葉県	11/24- 11/26	秋季休暇中2泊3日東京都に宿泊し関係者を取材	秋学期放課後(週1回)
地球環境 よりよい地球環境の創出	食の安全と環境問題 有機無農薬農業 Environmental Issues: Food Safety and Organic Farming	途上国からの研修生と交流と農業体験実習を通して、有機無農薬農業の研修を取材。途上国の環境や食の問題と人々の健康、有機無農薬農法と開発援助、植物工場の可能性、食の安全の科学について理解を深める。	上記草の根アプローチ訪問先 すべてに加えて 大阪府立大学 植物工場研究センター	栃木県 東京都 大阪府	7/14- 7/16	夏季休暇中2泊3日アジア学院(栃木県)に宿泊し関係者を取材・実習、大阪府大訪問は別日	春学期放課後(週1回)
	気候変動問題と社会 Environmental Issues: Climate Change and Society	気候変動の研究者、エネルギー企業、国際交渉を担当する政府関係者を取材。科学的見地、エネルギーミックスの見地、気候変動で深まる南北問題の見地、国際政治の見地から理解を深める。	国立環境研究所 経済産業省地球環境対策室 J-POWER WWFジャパン	東京都 茨城県 神奈川県	7/14- 7/16	夏季休暇中2泊3日東京都に宿泊し関係者を取材	地球環境の授業を履修
	防災・命の現場で働く プロフェッショナル Environmental Issues: Disaster Management/ Professionals Saving Lives	事前学習でライフセーバー実習、救命従事者を取材 資格取得は2月・6月、実習は7月中の10日間。ライフセーバーとして命を救う現場を体験した後に、実務者を取材し、防災について考察。	神戸市消防局 神戸市役所防災担当 陸上自衛隊(災害派遣) 高知県(津波サミット)	兵庫県 大阪府 高知県	6,7,8月 秋学期 週末、 秋季休 暇	夏季休暇中に神戸市内でライフセーバー実習に自宅から通う、関係者への取材は秋学期中・秋季休暇	7月、8月に須磨海岸実習に参加(必修)
異文化理解 よりよい、より平和的な異文化コミュニケーションのあり方の模索	捕鯨・イルカ漁 対立の背景 Cultural Understanding: Understanding the Whaling Conflict	捕鯨問題の対立の背景を取材。和歌山県太地町の歴史・文化、町からの移民の歴史、オーストラリアやアメリカ合衆国とのつながりを学ぶ。捕鯨を歴史的、文化的、政治的、経済的側面から理解を深める。	太地町歴史資料室 学芸員 櫻井敬人氏 太地町教育長 宇佐川彰男氏 くじらの博物館 UKガーディアン紙新聞記者	和歌山県 大阪府	7/1- 7/3	夏季休暇中2泊3日和歌山県太地町に宿泊し関係者を取材、記者は本校で取材	春学期放課後(週1回)
	第二次世界大戦後のドイツの平和教育 Cultural Understanding: Post WW2 Peace Studies in Germany	ドイツの平和教育に関する研究者・高校教員、高校での歴史教育の現場を取材。ダッハウ強制収容所を見学、命の教育現場として水族館でも取材。帰国前後でPKOの面から陸上自衛隊、ドイツ平和教育の日本人研究者にも取材。	University of Regensburg ダッハウ強制収容所 SEA LIFE Deutschland 陸上自衛隊(PKO) 国際医療福祉大学 寺田佳孝氏	ドイツ連邦 大阪府	7/9- 7/23	SOISドイツ文化交流プログラムと同時開催、夏季休暇中ドイツ連邦にて関係者を取材、日本在住関係者は春・秋学期に本校で取材	春学期放課後(週1回)